

地域住民の意見収集について

1. 地域住民の意見収集について

字老人会や婦人会、PTA が行っている集会へ出向き、生活支援交通導入に向けたこれまでの取組みと導入を検討しているコミュニティバスとデマンドタクシーの説明を行い、意見・要望の聞き取りを行った。また、高齢者の参加者が多い集会ではデマンドタクシーの利用意向や移動実態を把握するためのアンケートを配布した。

安里と添石では、集会の開催がなかったため意見交換が行えなかった。

2. 集会での意見・要望のとりまとめ

4月から6月にかけて、19自治団体の集会での意見・要望の聞き取りを行った。

平成25年度実証調査の護佐丸バスについて、利用した方からは「今後も運行してほしい」という意見が多く、改善点として南浜や団地前などへのバス停の追加、役場・老人福祉センターなどの経由地の追加やルート変更、運行時間や頻度の改善などが挙げられた。

デマンドタクシーについては、登又・津覇・伊舎堂に強い要望を示す方がおり、その他の地域でも便利だとの意見があった。

PTA や自治会からは現行通学バスへの意見・要望が多く、特に部活動後の下校に対応する時間帯まで運行してほしいという意見があり、今後生活支援交通を導入する上で通学バスとの連携も含め検討を進める必要がある。

表1に集会での意見・要望のとりまとめを整理する。

▼表1 集会での意見・要望のとりまとめ

平成25年度実証調査 護佐丸バスについて	
認知度・実際の利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域によって認知度に偏りがあった。 ・実際の利用者は地域によって偏っており、運行頻度が低かった北上原や登又等では特に利用者が少なかった。 ・実際に利用した方からは、『今後も是非運行してほしい』との意見が多かった。 ・高齢者に対しては地域で説明会を開催しないと周知を図れない。
バス停の位置	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センターに最も近い添石バス停を活用してほしい。 ・バス停は各字に1つではなく、境界や真ん中など複数あったほうが高齢者には使いやすい。 ・護佐丸バスは第二中城団地前のバス停がなかった。 ・奥間公民館前にバス停を設置してほしい。バス停が遠く利用できなかった。 ・サンヒルズタウンは高低差があるので、バス停は入口側と上の方の2ヶ所に設置してほしい。 ・南浜にバス停がなく不便であった。設置場所がなければ、土地を貸しても良いと考えている。
経由地・ルート	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートは北上原から役場まで行けるようになっていなければ意味がない。護佐丸バスは吉の浦会館までしか行かなかったのが不便であった。 ・老人福祉センターへも行けるようにしてほしい。 ・ハートライフクリニックまで運行してほしい。 ・ニューマンや西原シティまで運行してほしい。南上原の商業施設も経由してほしい。 ・台地地区を縦断、登又～南上原を経由するルートがほしい。

平成 25 年度実証調査 護佐丸バスについて	
運行時間・頻度	<ul style="list-style-type: none"> ・運行時間を 6 時～21 時と生活時間帯を考慮してほしい。日中は 2 時間おきでもいいので、朝夕時間帯には頻度を上げてほしい。 ・護佐丸バスは行きは良かったが、帰りで 1 時間以上待つ必要があり、長く感じた。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚に障害があるため、車両は一目でコミュニティバスとわかるようにデザインしてほしい。また、利用者が気づかない場合があっても乗れるように、必ずバス停で停車してほしい。 ・運賃は安いほうがいい。区間制にしてはどうか。
生活支援交通への意見・要望	
デマンドタクシーについて	<ul style="list-style-type: none"> ・登又、津覇、伊舎堂では、デマンドタクシーに対して強い要望を示した方々がいた。 ・デマンドタクシーの方が便利である。料金は安い方が利用しやすい。 ・耳が不自由な方の電話での予約は困難なのではないか。 ・視覚に障害があるため、到着したときにクラクションで知らせるなど配慮してほしい。 ・タクシーのような運行だと、待ち時間が短くなる。
タクシーチケットについて	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーチケットを配布してはどうか。 ・地域の民生員や自治会長らが必要な人数を把握し申請すれば、効率的で確実な配布体制がつけられるのではないかと。
現行通学バスとの連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動後の下校で通学バスを利用できない小学生・中学生への対応を考えてほしい。 ・現行通学バスとあわせて連携・再編を図ってはどうか。 ・幼稚園生の通園も検討してほしい。 ・琉大附属学校の児童生徒の通学にも対応してほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・台地地区の高校生は平坦地区まで車で送迎してもらい、バスに乗り継いで通学しているのだから、その対応も検討してほしい。 ・高齢者にとって使いやすい交通を導入してほしい。 ・赤字にならない事業にしてほしい。 ・運賃は安くしてほしい。 ・色々な地域の団体等から意見を汲み上げて検討を進めてほしい。 ・運転免許返納者数沖縄 1 を目指した取組みをしてほしい。
日常生活における移動について	
主な移動手段	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の主な移動手段は家族や友人等による送迎が多く、バス・タクシーの利用は比較的少ない。 ・行きは徒歩、帰りはタクシーなどの移動も多い。 ・奥間は商業施設の多い南上原に近く、共友タクシーの営業所も所在していることから比較的タクシーの利用が多い。
買物・用事先	<ul style="list-style-type: none"> ・村南側の地域の買物先は、南上原のスーパーや西原シティが多く、平坦地区北側では中城モール、台地地区北側は普天間のスーパーが多くなっている。 ・年金の受取等の用事先は、北上原・サンヒルズタウン・新垣・登又では普天間の農協や郵便局を利用している。
日常的な移動に関わる意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・交通が不便と感じている地域が多く、特に台地地区からの意見が多い。 ・タクシーは料金が安い。登又から琉大病院の往復で 3,000 円以上かかる。

参考資料① 集会での意見・要望聞き取り

	集会の概要	意見・要望等
1	<p>『久場ふれあい事業』 参加者:久場老人会 (36人) 4月15日 14:30~16:00 久場コミュニティセンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年実証調査の護佐丸バスを利用した方は、2割程度であった。 ・「利用しようとしたら運行が終わっていた。」 ・「便利であった、今後も続けてほしい。」 ・外出する時の移動手段は、男性は自分で運転している方が多く、女性は家族の送迎が多かった。 ・参加者の2~3割が外出時にバス・クシーを利用していた。 ・「国からの補助があるのか。」 →今年まで補助の確保ができています。 ・「なぜ運行するのか。」 →交通弱者、特に高齢者にとって便利で利用しやすい公共交通を確保し、生活の利便性の向上を図るとともに、高齢者の引きこもり解消や健康増進、交流などに広がればと考えている。 ・「幼稚園生の通園はどう対応するのか。」 →学校、教育委員会、父母等と協議し通学バスとの連携を検討する考えである。 ・「料金はいくらを想定しているのか。」 →未定であるが100円程度である。
2-1	<p>『登又ふれあい事業』 参加者:登又老人会 (21人) 4月16日 13:00~16:00 登又公民館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅が点在している登又では、デマンドタクシーの希望が多かった。 ・護佐丸バスを利用した方は2割程度、運行していたことを知らない方が1割いた。 ・今後も運行してほしいとの意見が1割程度であった。 ・外出時にはバス・タクシーを利用する方が2割弱であった。 ・買物先は普天間のりうぼうやユニオンへ行く方が多かった。 ・「通院時の移動が不便で、琉大病院へ行く場合にはタクシー往復で3,000円以上かかっており、バスだと遠回りで大変である。」 ・「高齢者に対しては、地域で説明会を開催しないと周知を測れない。」
2-2	<p>『登又PTA役員会議』 参加者:登又PTA(7人) 7月10日 19:30~21:00 登又公民館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「下校でバスを利用できない子供たちの対応を考えてほしい。」 ・「現行の通学バスとの連携・再編を考えてはどうか。」 ・「台地地区を縦断、登又~南上原を経由するルートがほしい。」 ・「学区変更の際に、村長からスクールバスとコミュニティバスのどちらも運行し、変更前より交通を便利にすると話があったのに、有言実行されていない。」 ・「りうぼうは商品の値段が高いので、買物であればかねひでやユニオンが良い。」 ・「赤字にならない事業を実施してほしい。将来の子供たちにつけを回さないようにしてほしい。赤字になるのであれば実施しない、または赤字の限度を決めて実施するなどしてほしい。」
3	<p>『津覇ふれあい事業』 参加者:津覇老人会 (21人) 4月21日 14:30~15:00 津覇公民館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーへの強い要望を示した方が数名いた。 ・「普天間の歯科へ行くのに往復で2,500円かかり、大変である。」 ・「吉の浦会館で開催されている朝市へ行きたいが、200~300円の野菜を買いにタクシー代を1,000円も払うのは高く、行けない。」 ・「毎週火曜日に老人福祉センターまで出かけるのだが、バス(片道230円)、タクシーを利用している。」

	集会の概要	意見・要望等
		<ul style="list-style-type: none"> ・「路線バスの補完と、別途で高齢者にとって使い勝手の良い福祉バスも検討してほしい。」 ・「護佐丸バスの運行はよかった。なぜ終了したのか。」 ・「新垣では豆腐を買うにもタクシーを利用しなければならず不便である。」 ・「台地地区と平坦地区を移動できないのが問題である。高齢者が使いやすい便利なバスがほしい。」 ・「返納者には特典を付けるなど、運転免許返納で沖縄1を目指して、返納させる環境づくりをしてほしい。」
4	<p>『北上原ふれあい事業』 参加者:北上原老人会 (15人) 4月21日 14:30~15:00 北上原公民館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・護佐丸バスの利用者なし、運行を知らない方も数名いた。 ・「バス停までが遠いので、デマンドタクシーだと便利になる」 ・「宜野湾市の郵便局や農協へ年金を取りに行っている。平坦地区へ降りるバスがなく、また距離もあるので、近くの宜野湾市に行くようになっている。」 ・「以前までは老人福祉センターのクラブ活動に参加していた方もいたが現在はなくなってしまった。」 ・「北上原は交通が不便で陸の孤島と感じている。ここに住むには運転免許が不可欠である。」 ・「買物は南上原ユニオンや宜野湾方面へ歩いて行き、帰りはタクシーを利用している。」 ・「高校生たちも、平坦地区まで送りバスに乗り継がせて通学させている。」 ・「ルートは役場まで行けるようになっていなければ意味がない。護佐丸バスは吉の浦会館までしか行かなかったので不便であった」 ・「料金はいくらを想定しているのか。」
5	<p>『伊舎堂ふれあい事業』 参加者:伊舎堂老人会 (25人) 4月24日 15:30~16:00 伊舎堂公民館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・護佐丸バス利用者は4名程度、運行を知らない方も数名いた。 ・デマンドタクシーに対し数名が要望を示した。 ・買物は中城モール、農協等へバスやタクシーを利用している方が2、3人いた。家族の送迎で買物に出かける方もいた。 ・「(生活支援交通が導入されれば)家族がいなくても、高齢者が自分でお出かけすることができるようになる。」 ・「老人福祉センターでのクラブ活動に参加している方の移動手段として検討してほしい。老人福祉センターに最も近い添石バス停を活用してほしい。」 ・「バス停は各字に1つではなく、境界や真ん中など複数あったほうが高齢者には使いやすい。」 ・「料金はいくらを想定しているのか。できるだけ100円がいい。」
6	<p>『村婦人会総会』 参加者:字代表(50人) 4月27日 15:00~15:20 吉の浦会館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「各団体から意見を聞いて、話し合いできる場を設けてほしい。」 ・「他市町村の事例から失敗例についても説明してほしい。」 ・「村営バスは非常にいいことだと思うが、村内にはタクシー会社もあり、そこで働く人たちにも家族がいて生活がかかっているの、それを考慮していただきたい。」 ・「以前にも老人会から要望があったと思われる。老人福祉センターで活動している方々の要望も聞いていただきたい。」
7	<p>『第二中城団地総会』 参加者:第二中城団地自治会(25人) 4月27日 20:20~20:50 第二中城団地公民館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・護佐丸バスの運行をほとんどの方が知っていた。 ・団地は高齢者よりも子供が多い。 ・「護佐丸バスは第二中城団地前のバス停がなかった。」 ・「小学生の部活動の移動に対応できるバスがあると便利だと思う。サッカー、バレー部は合同チームでの練習などで、村内各小

	集会の概要	意見・要望等
		学校と吉の浦を回っている。」
8	『伊集ちよっきん体操』 参加者:伊集老人会 (15人) 4月30日 15:40~16:00 伊集公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・護佐丸バスの運行をほとんどの方が知っていた。利用された方は2名程度であった。 ・買物先は西原シティ、農協、サンエーなかぐすく店が多く、タクシーで移動している方もいた。 ・現在も運転している高齢者が8名程いた。 ・デマンドタクシーの方が便利であるとの意見が多かった。 ・「老人福祉センターへも行けるようにしてほしい。」 ・「夜などは見えにくく運転が不安である。バスがあると便利になる。」
9-1	『新垣PTA』 参加者:新垣PTA(20~40代、10人) 5月2日 20:20~20:40 新垣公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の通学バスに対する要望・意見が多かった ・「琉大附属学校の児童生徒も利用できるようにしてほしい。中城南小学校まで送迎していただければ通学しやすくなる。」 ・「高校生の通学で平坦地区へ降りられるようにしてほしい。」 ・「タクシーチケットの配布はどうか。地域事業者を有効に活用できる。民生員や自治会長などが各地域で必要としている人を調べ、申請制で配布すれば、しっかり取り組んでいる地域にしっかり配布される仕組みができるのではないか。」
9-2	『新垣ふれあい事業』 参加者:新垣老人会 (20人) 6月10日 14:00~14:30 新垣公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・「新垣はバスもなく交通が不便で、生活に不便を感じている。」 ・「デマンドタクシーがあれば便利である。」
10	『北浜地区会総会』 参加者:区民(70人) 5月6日 14:30~15:00 北浜公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・他地区同様の意見であった。
11	『当間ふれあい事業』 参加者:当間老人会 (25人) 5月9日 15:10~15:40 当間公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・護佐丸バスの運行をほとんどの方が知っていた。 ・買物先は最も近い農協、普天間までタクシーで出かける方もいた。たまに中城モールまで行くという方もいた。 ・「タクシーチケットにしてはどうか。タクシーであれば待ち時間も短くて済む。」 ・「浦添市の病院まで車で行っているが、タクシーで行けるようになると便利である。」 ・「台地地区の高校生の通学では親が送迎していて大変である。」 →可能な限り広い範囲で対応したいと考えており、利用したい時間帯や人数などの要望を収集したい。 ・「デマンドタクシーの方が良いと思う。料金は安ければ乗りたいと思えるし利用する。」
12-1	『奥間老人会』 参加者:奥間老人会 (10人) 5月11日 15:10~15:40 奥間公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・護佐丸バスの運行をほとんどの方が知っていた。バス停が遠く利用できなかったという方もいた。 ・買物先はサンエーなかぐすく店などで、ほとんどが自分で運転していくか、家族による送迎であった。 ・「バス停は奥間公民館前にしてほしい。デマンドタクシーでも公民館まで来てほしい。」
12-2	『奥間ふれあい事業』 参加者:奥間老人会 (25人) 5月16日 11:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・護佐丸バス運行時に老人会の大半(40名程度)が利用した。 ・共友タクシーの事業所が近く、また商業施設が多い南上原にもタクシーで1メートル程度で行けるため、タクシーの利用が多い地域である。

	集会の概要	意見・要望等
	奥間公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・耳が不自由な方もおり、デマンドタクシーの予約の際は、電話以外でもできるよう検討が必要である。 ・「90歳近くなるが、何度も護佐丸バスを利用し、村内を回れてよかった。是非運行してほしい。」
13	『サンヒルズ自治会役員会』 参加者:サンヒルズ自治会(10人) 5月11日18:50~19:30 サンヒルズ公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・護佐丸バスの運行をほとんどの方が知っていた。バス停が遠く利用できなかったという方もいた。 ・買物先は普天間のユニオンやりうぼう等で、ほとんどが家族による送迎となっており、家族が休みの時や夜に買物へ出かけていた。タクシーを利用している方もいた。 ・「タクシーチケットにしてはどうか。タクシーであれば待ち時間が短くなる。」 ・「運行時間を6時~21時と生活時間帯を考慮してほしい。日中は2時間おきでもいいので、朝夕時間帯には頻度を上げてほしい。」 ・「料金は区間制の方がいいのではないか。サンヒルズタウンから普天間までなど、短い区間でしか利用しないと考えられる。」 ・「サンヒルズタウンは高低差があるので、バス停は入口側と上の方の2ヶ所に設置してほしい。」 ・「デマンドタクシーの方が良い。料金は安ければ乗りたいと思うし、利用する。」 ・「サンヒルズタウンは交通の便が良くないので、是非バスを運行させてほしい。」
14	『屋宜老人会総会』 参加者:屋宜老人会(40人) 5月12日14:30~15:00 屋宜公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・他地区同様の意見であった。
15	『和宇慶ふれあい事業』 参加者:和宇慶老人会(45人) 5月12日15:40~16:00 和宇慶公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・護佐丸バスの運行をほとんどの方が知っていた。利用者は10名程度であった。 ・買物先はサンエーなかぐすく店やユニオン中城店、西原シティなどで、バスを利用する方が3名、タクシーが2名、その他は家族による送迎であった。 ・「護佐丸バスは行きは良かったが、帰りで1時間以上待つ必要があり、長く感じた。」
16-1	『南上原ふれあい事業』 参加者:南上原老人会(30人) 5月13日15:30~17:00 南上原公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・護佐丸バスの利用者はいなかった。 ・買物先はサンエーなかぐすく店やユニオン中城店、西原シティなどで、バスを利用する方が3名、タクシーが2名、その他は家族による送迎であった。 ・「老人福祉センターを経由していなかったので使えなかった。」 ・「護佐丸バスは行きは良かったが、帰りで1時間以上待つ必要があり、長く感じた。」 ・「南上原は交通が不便な地域なのでぜひバスを運行してほしい。」
16-2	『南上原こども会』 参加者:南上原こども会(30人) 5月24日20:30~21:00 南上原公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・「中学生の部活帰り(19時~20時頃)で利用できるようにしてほしい。」 ・「土日にも運行するのか。」 →実証運行では土日にも運行し、利用状況により今後運行するか検討する。
17-1	『南浜ユンタク会』 参加者:南浜ユンタク会	<ul style="list-style-type: none"> ・護佐丸バスを半数が利用していた。南浜にバス停がなく不便であったとの意見もあった。

	集会の概要	意見・要望等
	(20人) 5月14日 10:00~12:00 南浜公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・「もっと近くにバス停を設置してほしい。遠くて利用できない方もいた。」 ・「視覚に障害があり、バス車両自体が分からないので、わかりやすくしてほしい。またバス停で必ず停車してほしい。デマンドタクシーの場合も、クラクションで知らせるなど配慮してほしい。」 ・「障害のある方は役場で把握できると思うので、障害のある方からも課題点や要望を聞いてほしい。」 ・「ハートライフクリニックまで運行してほしい。」 ・「バスで普天間や南上原などへ行っているが、遠くてお金がかかる。」 ・「運転免許は持っているが、車がなくて移動に困る時もある。」 ・「ニューマンや西原シティまで運行してほしい。南上原の商業施設も経由してほしい。」
17-2	『南浜ユンタク会』 参加者:南浜ユンタク会 (20人) 6月11日 15:30~17:00 南浜公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・「バス停の設置が困難であれば、敷地内へ設置しても構わない。」
18	『泊ふれあい事業』 参加者:泊老人会 (25人) 5月20日 9:00~9:45 泊公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの方が家族や友人の送迎で用事を済ませていた。
19	『浜ふれあい事業』 参加者:浜老人会 (20人) 6月10日 14:00~14:30 浜公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者のほとんどが、運転免許を持たない方々で不便を感じていた。 ・「孫たちも通学するのに自家用車で送迎してもらっている。」 ・「デマンドタクシーがあると便利になる。」

3. アンケートのとりまとめ

5月から6月にかけて、老人会集会において意見・要望の聞き取りに加え、高齢者のデマンドタクシーの利用意向、日常的な移動実態を把握するためのアンケートを実施した。

また、アンケートはデイケアサービスでも実施した。

1) 設問項目

設問項目は、以下の通りである。

①属性	②運転の状況	③自分で運転しない方の移動手段
④デマンドタクシーの運行、利用意向について	⑤外出の頻度	
⑥買物での移動	⑦通院での移動	⑧用事での移動

2) 総括

アンケートの回収は全部で142、うち有効件数は136件であった。

回答者の属性について、居住地は平坦地区、年齢は70歳以上、性別は女性が多かった。回答者の約6.5割の方が自分で車の運転をしておらず、そのうちの約半数が移動手段に不便を感じて外出を諦めたことがあると回答している。車を運転しない方の主な移動手段は家族等による送迎が多く、バスとタクシーではタクシーの利用が若干多い。

デマンドタクシーの運行については、予約に対しての抵抗感は低い、タクシー車両への乗合、乗降時間や移動時間の不確定さには多少抵抗感が高いと考えられる。運行の頻度は1時間に1本でも比較的使いやすいと感じているが、30分に1本との希望が多い。利用が多く想定される時間帯は、午前8、9時台、午後3～5時台であり、主な目的は通院、買物である。

デマンドタクシーの料金の希望は、上限300円との希望が多く、利用意向は約半数が利用したいと回答した。

日常生活の移動について、買物に出かける頻度は週2～3回と頻度が高いが、通院では月1～2回と頻度が低い。用事に出かける頻度にはバラツキがある。主な移動手段は自分で運転できる方は自分で、できない方は家族に運転してもらって移動している。また村内では徒歩での移動もみられる。バスとタクシーについては、村内はタクシーでの移動が比較的多い。村外へ出る時はバスが比較的多くなっているものの、通院・用事時ではタクシーでの移動も多くみられる。

村内での主な移動先は、ハートライフ病院、わくさん内科、中城モール、サンエーなかぐすく店、JA中城（農協）、中城村役場、中城郵便局等である。村外への移動先は西原町が多く、西原シティや琉大病院等である。

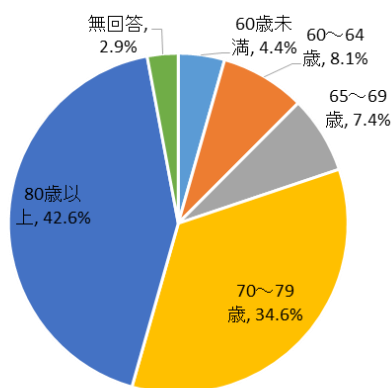
3) アンケート集計結果

【回収状況】

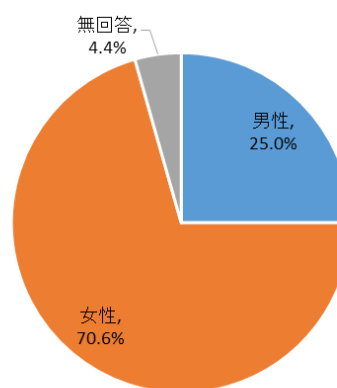
●回収件数…142件 ●有効件数…136件 ●無効件数…6件

①属性【問1-1~3】(n=136)

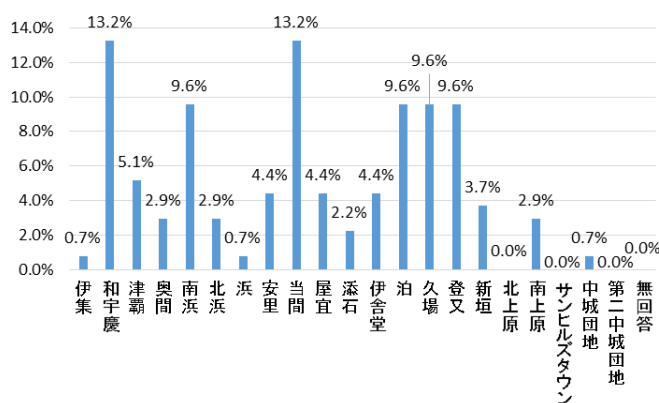
- ・回答者の年齢は『80歳以上』が42.6%と最も多く、次いで『70~79歳』が34.6%であった。
- ・性別は『女性』が70.6%、『男性』が25.0%となり、『女性』が『男性』の約2.8倍となった。
- ・居住地は『当間』、『和宇慶』がそれぞれ13.2%と最も多く、次いで『南浜』、『泊』、『久場』、『登又』がそれぞれ9.6%であった。回収がなかった居住地は『北上原』、『サンヒルズタウン』、『第二中城団地』の計3地域であった。地域を区分してみると、『平坦地区北側』が約半数の47.8%と最も多く、次いで『平坦地区南側』が36.0%となり、平坦地区で約8割を占めた。



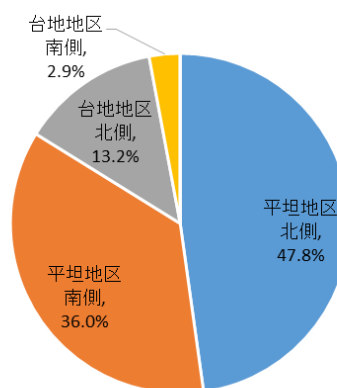
▲年齢



▲性別



▲居住地



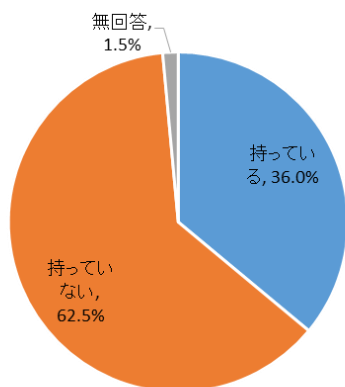
▲居住地 (区分別)

▼居住地 (区分) の内訳

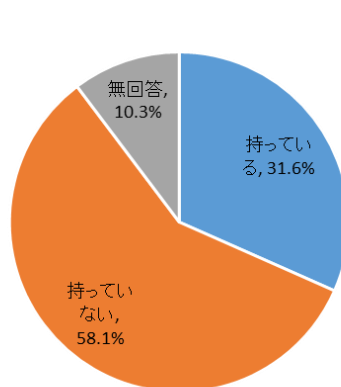
平坦地区北側	平坦地区南側	台地地区北側	台地地区南側
久場、泊、伊舎堂、添石、屋宜、当間、安里、第二中城団地	伊集、和宇慶、津霸、奥間、南浜、北浜、浜、中城団地	登又、新垣、北上原、サンヒルズタウン	南上原

②運転の状況【問1-4~6】(n=136)

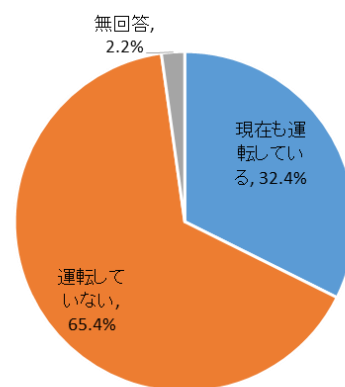
- ・運転免許を『持っていない方』が 62.5%、『持っている』方が 36.0%で、『持っていない』方が『持っている』方の約 1.7 倍となった。
- ・車の所有状況は、『持っていない』方が 58.1%、『持っている』方が 31.6%であった。
- ・『運転していない』方が 65.4%、『現在も運転している』方が 32.4%となり、運転免許はもっていても運転していない方がいると考えられる。



▲運転免許の保有状況



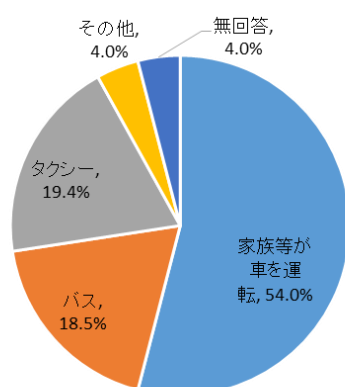
▲車の所有状況



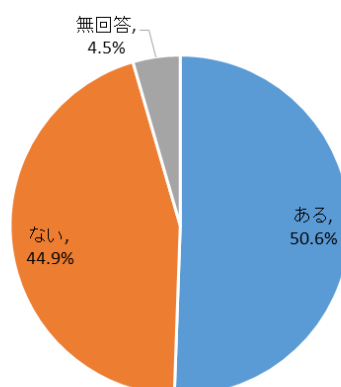
▲運転の状況

③自分で運転しない方の移動状況【問1-7~8】(n=89)

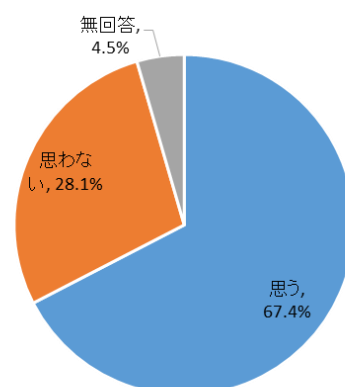
- ・外出する時の主な移動手段は、『家族等が車を運転』して移動している方が 54.0%と最も多く、次いで『タクシー』が 19.4%、『バス』が 18.5%となった。
- ・移動手段に不便を感じて外出を諦めたことが『ある』方は、50.6%、『ない』方は 44.9%となり、外出を諦めたことがある方が約半数を占めた。
- ・公共交通が便利になれば、自分で利用して外出すると『思う』方が 67.4%、『思わない』方が 28.1%となり、自分で利用して外出すると『思う』方が約 7 割を占めた。



▲外出する時の主な移動手段



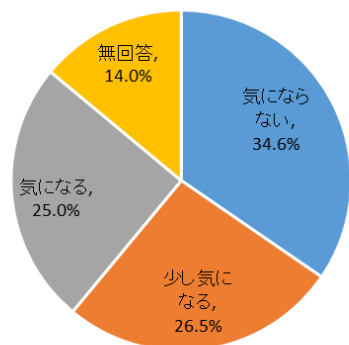
▲移動手段に不便を感じて外出を諦めたことがある



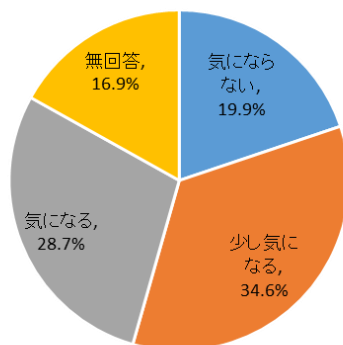
▲公共交通が便利になれば自分で利用して外出したいと思う

④デマンドタクシーの運行、利用意向について【問2-1~7、問3-1~2】(n=136)

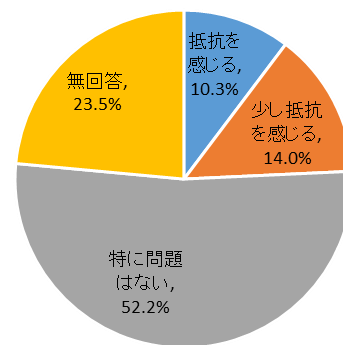
- ・タクシー車両に不特定の人と乗合になることが『気にならない』方が 34.6%と最も多かったが、『少し気になる』方が 26.5%、『気になる』方が 25.0%となり、乗合を気にする方が比較的多いと考えられる。
- ・予約制で乗降時刻や移動時間が不確定になることが『少し気になる』方が 34.6%と最も多く、次いで『気になる』方が 28.7%となり、時間を気にする方が多いと考えられる。
- ・予約について『特に問題はない』と回答した方が 52.2%と半数を占め、予約制に対し、抵抗感は低いと考えられる。



▲タクシー車両での乗合について

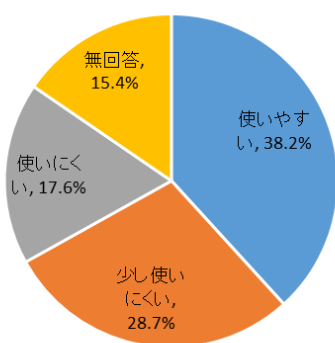


▲乗降時刻や移動時間の不確定さについて

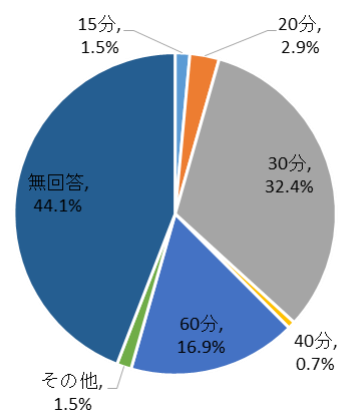


▲予約への抵抗感について

- ・1時間ごとの予約に応じて運行することについて、『使いやすい』と感じる方が 38.2%、『少し使いにくい』と感じる方が 28.7%、『使いにくい』と感じる方が 17.6%となった。
- ・運行頻度の希望では、『30分』に1本が 32.4%と最も多く、次いで『60分』が 16.9%となった。
- ・運行頻度について、1時間に1本でも問題はないが、30分に1本あるとより利便性が高くなると考えられる。

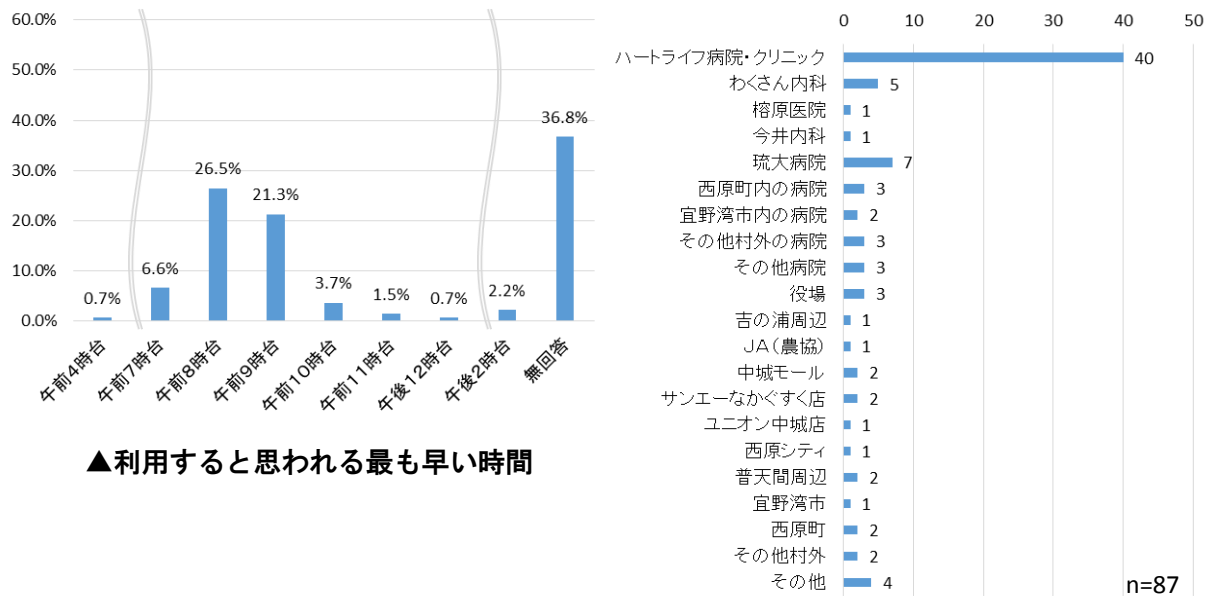


▲1時間ごとの予約での運行について



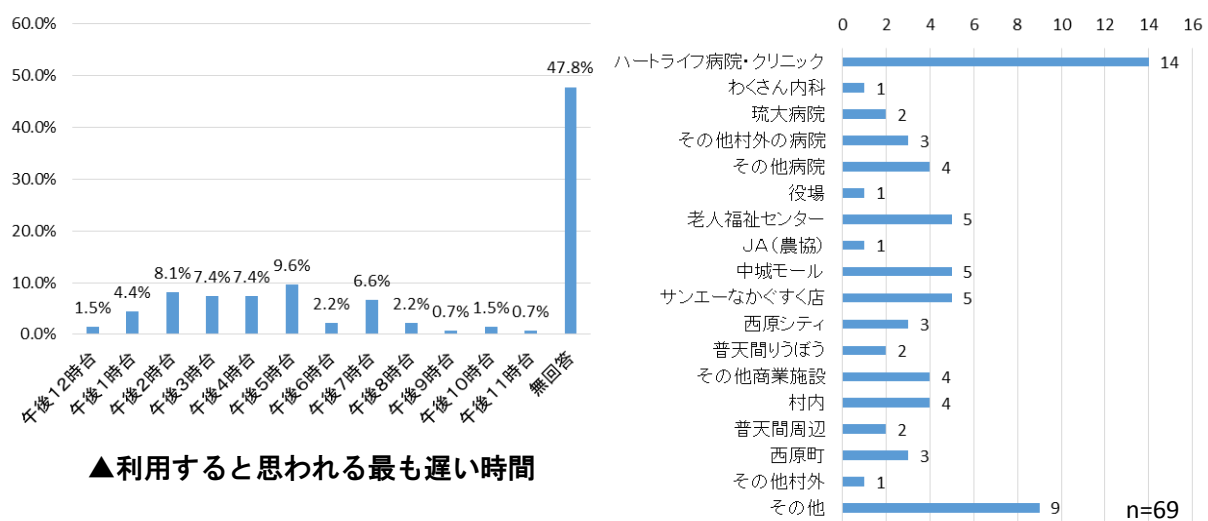
▲運行頻度の希望

- ・利用すると思われる最も早い時間は『午前8時台』が26.5%と最も多く、次いで『午前9時台』が21.3%であった。
- ・早い時間の目的地は『ハートライフ病院・クリニック』が40件と最も多く、次いで『琉大病院』が7件であった。早い時間帯の目的地は病院が多く、通院での移動が主な利用目的となると考えられる。



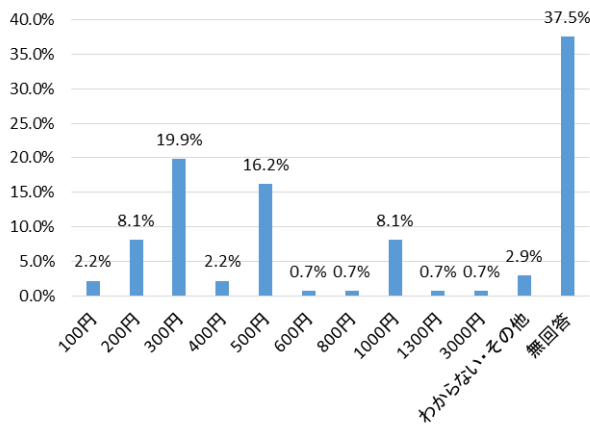
▲利用すると思われる最も早い時間の目的地

- ・利用すると思われる最も遅い時間は長時間にわたっているが、『午後5時台 (9.6%)』が最も多く、次いで『午後2時台 (8.1%)』、『午後3時台 (7.4%)』と『午後4時台 (7.4%)』となった。
- ・遅い時間の出発地にはバラツキがあるが、『ハートライフ病院・クリニック (14件)』をはじめとする病院、『中城モール (5件)』や『サンエーなかぐすく店 (5件)』などの商業施設が多かった。遅い時間帯は通院や買物での移動が主な利用目的となると考えられる。

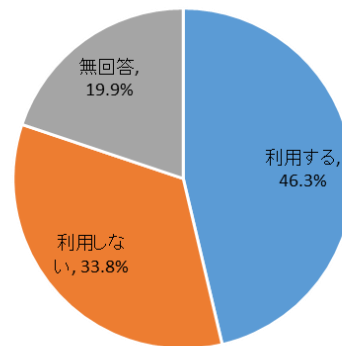


▲利用すると思われる最も遅い時間の出発地

- ・料金の上限は、『300円』が19.9%と最も多く、次いで『500円』が16.2%となった。
- ・デマンドタクシーの利用意向について、『利用する』との回答が46.3%、『利用しない』が33.8%となり、約半数の方が利用意向を示した。



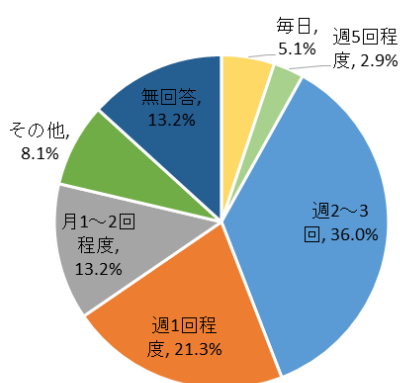
▲料金の上限



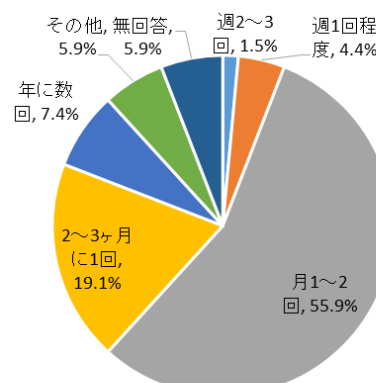
▲デマンドタクシーの利用意向

⑤外出の頻度【問4-1、問5-1、問6-1】(n=136)

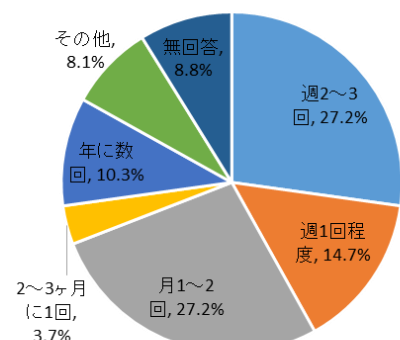
- ・買物で出かける頻度は『週2~3回』が36.0%と最も多く、次いで『週1回程度』が21.3%、『月1~2回程度』が13.2%であった。
- ・通院で出かける頻度は『月1~2回』が55.9%と約半数を占め、次いで『2~3ヶ月に1回』が19.1%であった。
- ・用事で出かける頻度は『月1~2回』、『週2~3回』がそれぞれ27.2%、『週1回程度』が14.7%となっており、頻度にバラツキがみられた。



▲買物で出かける頻度



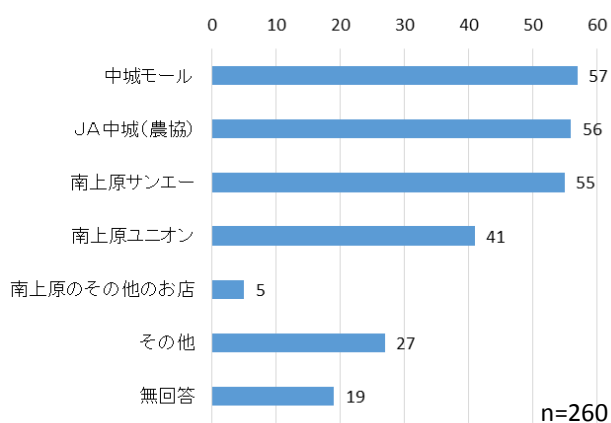
▲通院で出かける頻度



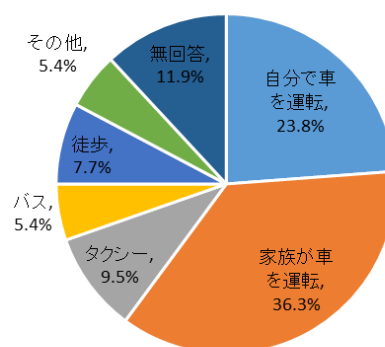
▲用事で出かける頻度

⑥買物での移動【問4-2~5】

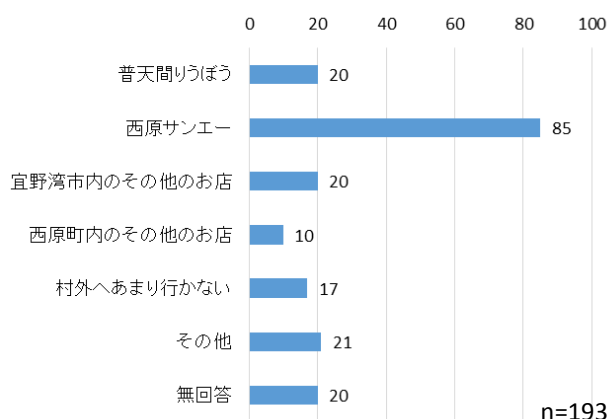
- ・村内の買物先は『中城モール (57件)』が最も多く、次いで『JA中城(農協) (56件)』、『南上原サンエー (55件)』であった。
- ・村内の買物での移動手段は、『家族が車を運転』が36.3%と最も多く、次いで『自分で車を運転』が23.8%であった。『タクシー』は9.5%、『徒歩』は7.7%、『バス』は5.4%となった。
- ・村外の買物先は『西原シティ (85件)』が最も多くなった。
- ・村外の買物での移動手段は、『家族が車を運転』が38.4%、『自分で車を運転』が22.1%となった。また『タクシー』が7.0%、『バス』が14.0%となり、『タクシー』が『バス』の2倍であった。
- ・村内と村外での移動手段と比較すると、『自分で車を運転』、『家族が車を運転』ではほとんど差はみられない。一方、『タクシー』と『バス』では、村外へ行く場合、『タクシー』が減少しているのに対し、『バス』が増加していることから、長距離を移動する場合には運賃の安い移動手段を選択していると考えられる。



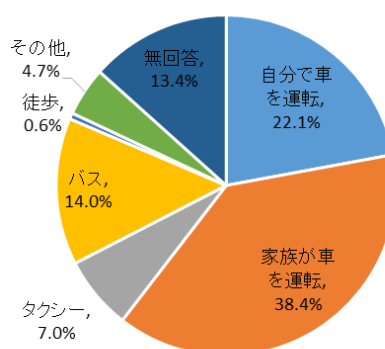
▲村内の買物先



▲村内の買物での移動手段



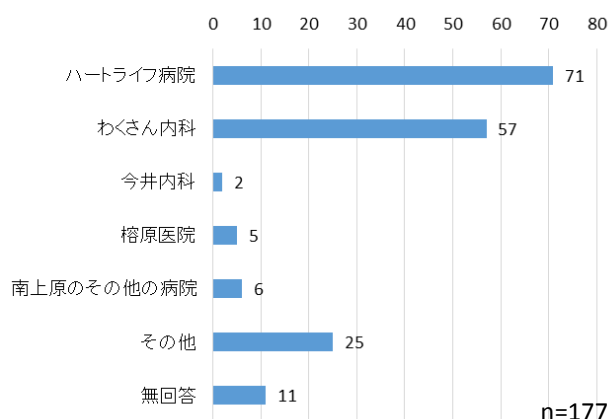
▲村外の買物先



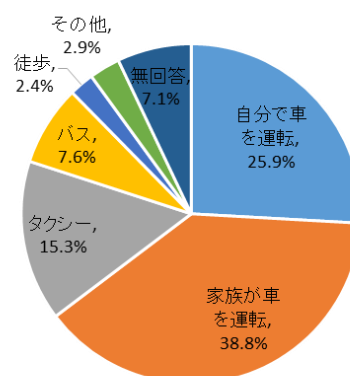
▲村外の買物での移動手段

⑦通院での移動【問5-2~5】

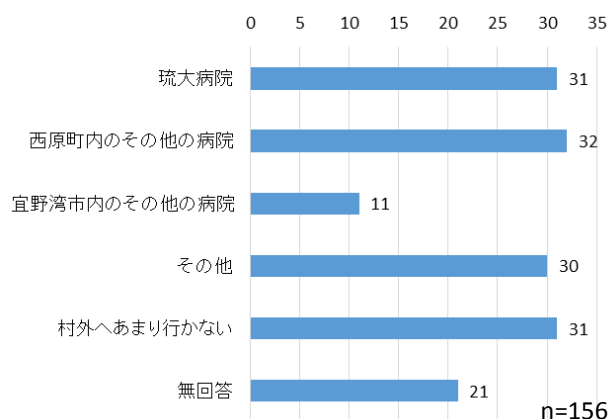
- ・村内の通院先は『ハートライフ病院 (71 件)』が最も多く、次いで『わくさん内科 (57 件)』であった。
- ・村内の通院での移動手段は、『家族が車を運転』が 38.8%と最も多く、次いで『自分で車を運転』が 25.9%であった。『タクシー』は 15.3%、『バス』は 7.6%で、『タクシー』は『バス』の約 2 倍であった。
- ・村外の通院先は『西原町のその他の病院 (32 件)』、『琉大病院 (31 件)』が多かった。また『村外へあまり行かない (31 件)』も多かった。宜野湾市よりも西原町の病院へ行くほうが多かった。
- ・村外の通院での移動手段は、『家族が車を運転』が 32.8%と最も多く、次いで『自分で車を運転』が 23.6%であった。また、『バス』は 12.6%、『タクシー』は 12.1%となった。
- ・村内と村外での移動手段を比較すると、『家族が車を運転』では、村外よりも村内が多くなった。また、『タクシー』と『バス』では、『タクシー』ではほとんど差が見られず、『バス』は村外へ行く場合の方が多くなったことから、長距離を移動する場合には比較的安い運賃の移動手段を選択するものの、通院時には『タクシー』も利用することが多いと考えられる。



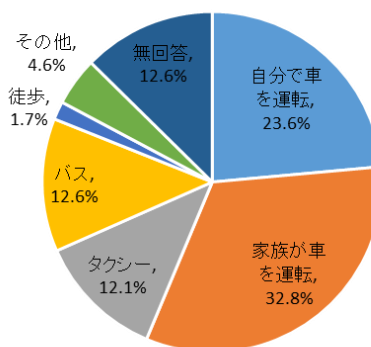
▲村内の通院先



▲村内の通院での移動手段



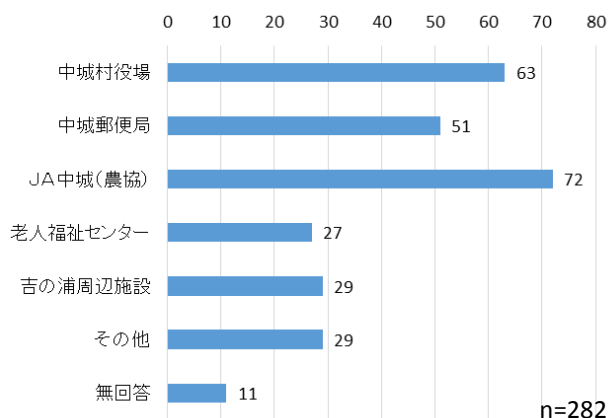
▲村外の通院先



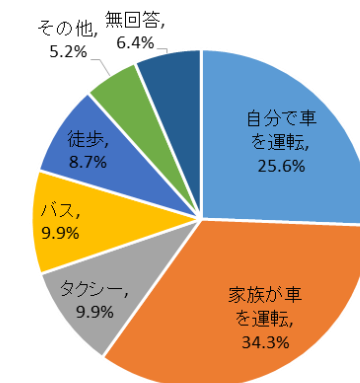
▲村外の通院での移動手段

⑧用事での移動【問6-2~5】

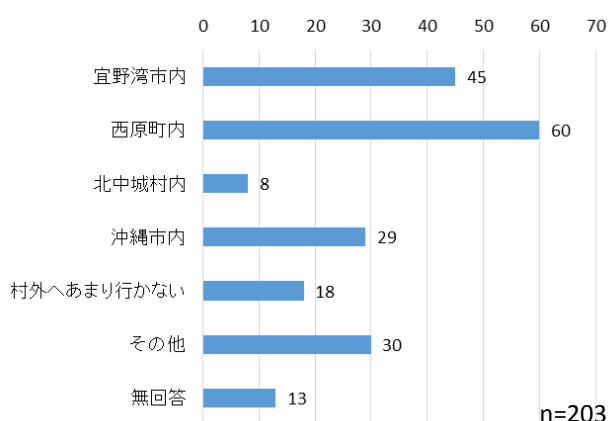
- ・村内の用事先は『JA中城（農協）（72件）』が最も多く、次いで『中城村役場（63件）』、『中城郵便局（51件）』であった。
- ・村内の用事での移動手段は、『家族が車を運転』が34.3%と最も多く、次いで『自分で車を運転』が25.6%であった。『タクシー』、『バス』はそれぞれ9.9%、『徒歩』は8.7%であった。
- ・村外の用事先は『西原町内（60件）』が最も多く、次いで『宜野湾市内（45件）』であった。
- ・村外の用事での移動手段は、『家族が車を運転』が38.1%と最も多く、次いで『自分で車を運転』が25.0%であった。また、『バス』は14.8%、『タクシー』は11.4%となった。
- ・村内と村外での移動手段を比較すると、『家族が車を運転』では村内よりも村外が若干多くなった。また、『タクシー』、『バス』についても村内よりも村外が多くなっており、村内では『徒歩』で移動していた方が、『タクシー』や『バス』を利用して村外の用事へ出かけていると考えられる。



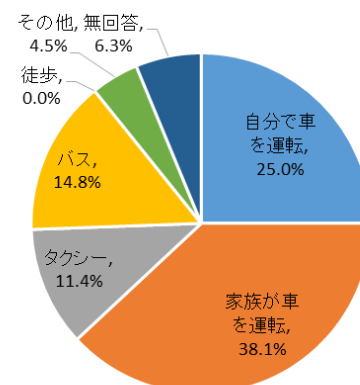
▲村内の用事先



▲村内の用事での移動手段



▲村外の用事先



▲村外の用事での移動手段

中城村 公共交通地域懇談会 アンケート

中城村では、車を運転できない方々の日常生活を支える公共交通を充実させるため、日中においては「乗合タクシー」の導入を検討しています。

このアンケートは、乗合タクシーを地域に即した公共交通にするため、住民皆様からご意見をいただくものです。本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答内容は、公共交通導入の検討以外の目的では使用いたしません。

ご回答の 注意点

- ※ 当てはまるものに ○(丸印) をつけてください。
- ※ ○の数は 設問最後の ()かっこの中の指示 に従ってつけてください。
- ※ 【 】かっこの中には 記述 で回答してください。

問 1 あなたご自身のことについてお尋ねします。

1. 年齢(1つ)	① 60歳未満	② 60～64歳	
	③ 65～69歳	④ 70～79歳	
	⑤ 80歳以上		
2. 性別(1つ)	① 男性	② 女性	
3. 住んでいる地域(1つ)	① 伊集	② 和宇慶	③ 津覇
	④ 奥間	⑤ 南浜	⑥ 北浜
	⑦ 浜	⑧ 安里	⑨ 当間
	⑩ 屋宜	⑪ 添石	⑫ 伊舎堂
	⑬ 泊	⑭ 久場	⑮ 登又
	⑯ 新垣	⑰ 北上原	⑱ 南上原
	⑲ サンヒルズタウン	⑳ 県営中城団地	㉑ 第2中城団地
	4. 運転免許(1つ)	① 持っている	② 持っていない
	5. 車の所有(1つ)	① 持っている	② 持っていない
6. 運転の状況(1つ)	① 現在も運転している	② 運転していない	

→ ①を選択した方は
次のページへ

↓ ②を選択した方は
下記の設問へ

7. 外出する時の主な移動手段はどれですか？ (2つまで)	① 家族等が車を運転 ② バス ③ タクシー ④ その他
8. 外出しようと思った時に移動手段に不便を感じて、外出をあきらめたことがありますか？(1つ)	① ある ② ない
9. 公共交通が便利になれば、自分自身で利用して外出したいと思いますか？(1つ)	① 思う ② 思わない

次のページへ⇒

中城村が考える乗合タクシー（案）

◎ 10時台に利用したい場合したい場合
 << 9時半までに予約 >>



- 事前予約（概ね乗りたい時間帯の30分前まで）に応じて運行します。
- 固定のルートや時刻表はありませんが、1時間ごとに予約に応じて運行します。
- 予約が複数あった場合は、乗合になります。
- 他の予約と調整が必要なため、指定した時間に迎えに来ない、目的地へ着かない可能性があります。
- 基本は村内での運行で、乗降場所は自由に設定できます。
- タクシー車両を使用します。
- 他の予約先を経由しながら、自宅等から目的地までを運行します。
- 運賃は一人1回利用当たりの料金で支払います。乗合人数が多くても、安くなりません。

問2 あなたが乗合タクシーを利用すると想定してお答えください。

1. タクシー車両に不特定の人と乗合となりますが、気になりますか？（1つ）
① 気にならない ② 少し気になる ③ 気になる
2. 乗降時刻や移動時間が不確定ですが、気になりますか？（1つ） 例) 迎えに来る時刻が分からない、他の人を拾うために遠回りするせいで時間がかかる 等
① 気にならない ② 少し気になる ③ 気になる
3. 1時間ごとに予約に応じて運行しますが、使いやすいと思いますか？（1つ）
① 使いやすい ② 少し使いにくい ③ 使いにくい

問 5 あなたが**通院で出かける時のこと**についてお尋ねします。

1. 通院で出かける頻度(1つ)	① 週2～3回 ③ 月1～2回 ⑤ 年に数回	② 週1回程度 ④ 2～3ヶ月に1回 ⑥ その他
2. 村内で通院する病院(複数可)	① ハートライフ病院 ③ 今井内科 ⑤ 南上原のその他の病院	② わくさん内科 ④ 榕原医院 ⑥ その他
3. 村内で通院で出かける時の主な交通手段(2つまで)	① 自分で車を運転 ③ タクシー ⑤ 徒歩	② 家族が車を運転 ④ バス ⑥ その他
4. 村外で通院する病院(複数可)	① 琉大病院 ③ 宜野湾市内のその他の病院 ⑤ 村外へあまり行かない	② 西原町内のその他の病院 ④ その他
5. 村外で通院で出かける時の主な交通手段(2つまで)	① 自分で車を運転 ③ タクシー ⑤ 徒歩	② 家族が車を運転 ④ バス ⑥ その他

問 6 あなたが**用事(役場、銀行、クラブ活動等)**で出かける時のことについてお尋ねします。

1. 用事で出かける頻度(1つ)	① 週2～3回 ③ 月1～2回 ⑤ 年に数回	② 週1回程度 ④ 2～3ヶ月に1回 ⑥ その他
2. 村内で用事で出かける場所(複数可)	① 中城村役場 ③ JA中城(農協) ⑤ 吉の浦周辺施設	② 中城郵便局 ④ 老人福祉センター ⑥ その他
3. 村内で用事で出かける時の主な交通手段(2つまで)	① 自分で車を運転 ③ タクシー ⑤ 徒歩	② 家族が車を運転 ④ バス ⑥ その他
4. 村外で用事で出かける場所(複数可)	① 宜野湾市内 ③ 北中城村内 ⑤ 村外へあまり行かない	② 西原町内 ④ 沖縄市内 ⑥ その他
5. 村外で用事で出かける時の主な交通手段(2つまで)	① 自分で車を運転 ③ タクシー ⑤ 徒歩	② 家族が車を運転 ④ バス ⑥ その他

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。